

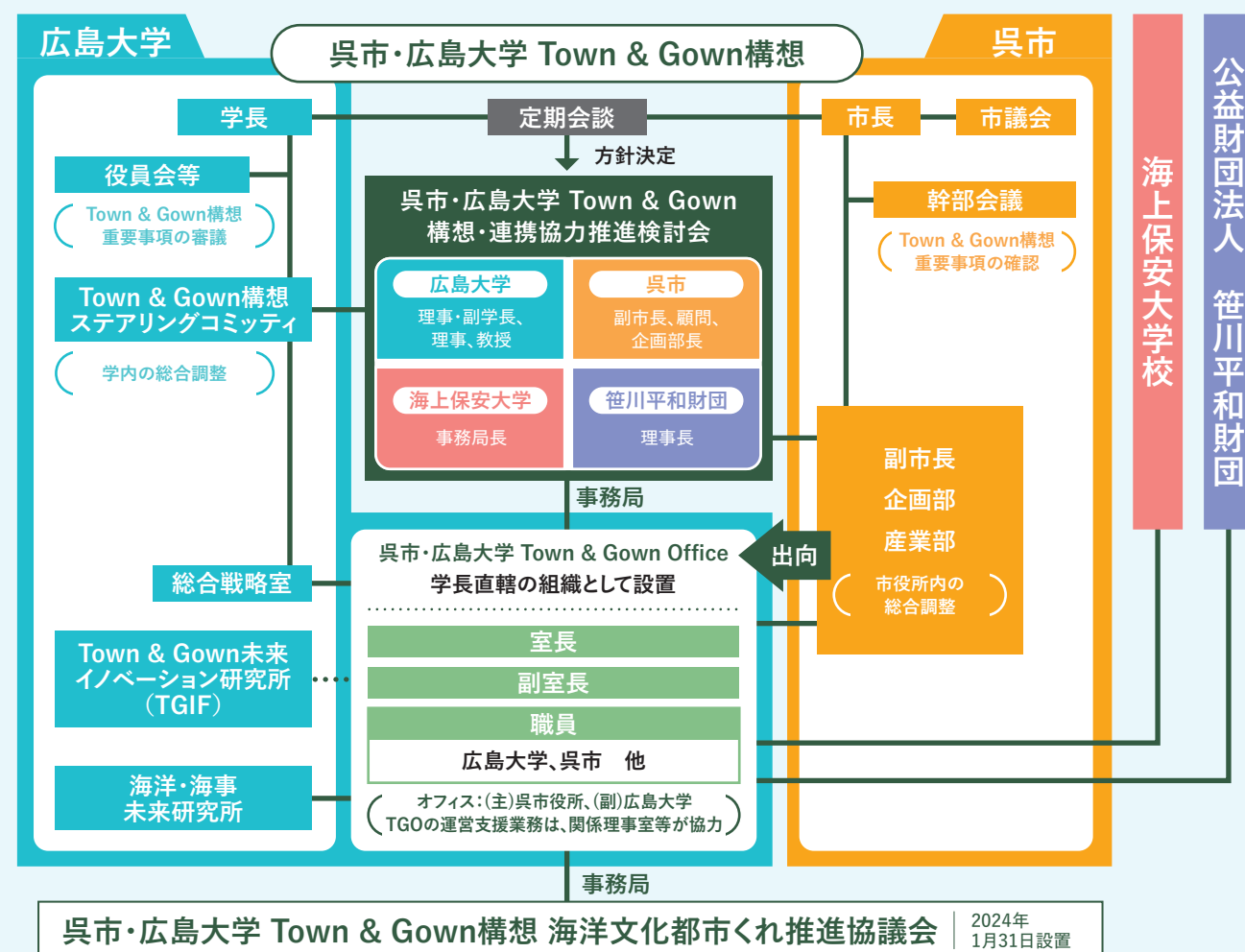
Town & Gown構想とは？

Town & Gown構想とは、社会変革を伴う地方創生を生み出し、日本を地域から躍動させるための取組です。Town(=まち)とGown(=教授や学生の正装とされているガウン、つまり大学そのもの)が手を取り、持続可能な未来のビジョンを共有し、持続的な地域の発展と大学の進化を共に目指します。

Town & Gown構想が目指す4つのステップ



Town & Gown構想推進体制図



世界とつながる知と海洋・海事の拠点
「海洋文化都市くれ」はじまる。

呉市・広島大学

TOWN
&
GOWN
構想



呉市



広島大学



海上保安大学校



公益財団法人
笹川平和財団



呉市・広島大学
Town & Gown Office

お問い合わせ

呉市・広島大学 Town & Gown Office
〒737-8501 呉市中央4丁目1番6号 呉市役所9階

呉市・広島大学TGO: ☎ 070-1477-8445 ✉ kure-tgo-admin@office.hiroshima-u.ac.jp

呉市企画課: ☎ 0823-25-3273 ✉ kikaku@city.kure.lg.jp

呉TGO で検索



呉市: <https://www.city.kure.lg.jp/site/town-and-gown/>
広島大学: <https://www.hiroshima-u.ac.jp/kurengo/abouttgo>



呉市



広島大学

Vision

～未来像～

市と大学、そして海洋・海事に関わる企業・団体が連携し、
**世界とつながる知の拠点
海洋文化都市くれ**を実現します！

2023年7月、呉市・広島大学 Town & Gown構想を実現させるため、呉市と広島大学、海上保安大学校、笹川平和財団が連携協定を締結しました。4者と世界が連携し、海にまつわる「知の拠点」を目指します。

Plans

呉市と広島大学が目指す4つの姿



Top Messages

～市長・学長からのメッセージ～



新原 芳明
呉市長

海とともに歩むまち、
呉の未来に向けて

呉市の未来を切り拓くため、広島大学、海上保安大学校、笹川平和財団、関連企業・団体とともに呉市・広島大学 Town & Gown構想を推進しています。海洋文化都市くれの一層の実現に向け、是非多くの企業・団体・市民の皆様に関わっていただきたいと思います。



越智 光夫
広島大学 学長

地域社会とともに
世界とつながる知の拠点づくりを

広島大学は、世界トップレベルの教育、研究を展開している一方で、地域とともに歩む大学でもあります。本構想では呉市と手を取り合い、海洋・海事に資する人材を育て、豊かな知見を持つ関係団体の皆様と魅力ある拠点づくりに取り組みます。

呉市・広島大学 Town & Gown構想の推進体制

海洋・海事に関わるものづくりや海運業の伝統、造船・船用工業・海運等の瀬戸内海事クラスターを活用

瀬戸内に面する呉市は、古くから造船や海運業、水産業が盛んな地域。そのため、海に関する教育・研究機関も多く、海洋技術や歴史を学べる場が豊富です。これらの特色を活かし、海の文化と産業を牽引する国際的な「海洋文化都市」を目指します。



呉市

呉市の海洋・海事に関する4つのポイント

- ① 豊かな海洋自然環境
- ② 海洋・海事に関わるものづくりの伝統
- ③ 海洋に関わる交通・海運業の伝統
- ④ 海洋・海事に関わる調査・研究機関の立地

呉市と広島大学が共同設置したTown & Gown Officeで構想を実現すべく協働しています。



広島大学

「海洋・海事のガバナンスと持続可能性のためのアジア拠点形成」*を掲げ、人文・社会科学系、自然科学系のあらゆる分野の知を結集

広島大学は重点的に取り組む5つ社会課題「President 5 Initiatives for Peace Sciences」のなかで、海洋・海事分野に関する研究・教育の強化を目指しています。最新技術や国際ルールなど、海洋に関する様々な知見を集集し、海の社会課題の解決に貢献します。



広島大学の海洋・海事に関する4つのポイント

- ① 全国有数の船舶海洋工学の教育研究拠点
- ② 海外大学との海洋・海事教育連携
- ③ スマート水産、海洋環境研究推進
- ④ 海洋・海事に関する全国有数の設備等

*今後重点的に取り組む社会課題を「President 5 Initiatives for Peace Sciences-新しい平和科学(安全・安心を実現する「創る平和」)-」として策定しました。そのうちの一つが、「海洋・海事のガバナンスと持続可能性のためのアジア拠点形成」です。

連携協定・
推進協議会で
取組を加速



海上保安大学校

海上保安庁の幹部職員に必要な知識や技能を教授し、心身の錬成を図るとともに、海洋政策に関する調査研究をすることを目的とした、広島県呉市にある教育機関です。



公益財団法人 笹川平和財団

国際理解、国際交流、国際協力の推進を目的として設立された公益財団法人。世界中の政府機関、国際機関、大学等と連携を進めています。



世界海事大学

国際海事機関(IMO)が1983年にスウェーデン・マルメに設立した大学院大学。海上安全や環境管理などの海事・海洋分野の人材育成を目的としています。

74

の団体が参加する
推進協議会

海洋文化都市くれ推進協議会

本構想を推進するための取組を多方面から加速させるべく設立されました。行政機関や教育機関、関係団体、企業などあらゆる業界から74もの団体で構成されています。(2025年5月時点) [詳細はP.3](#)

海洋国家日本の
未来に貢献する、**7**つの重要事項を推進

海洋・海事の
国際的教育・研究・
社会連携の拠点形成

海洋・海事関係
国際機関等との連携

広島大学大学院の
学際的学位
プログラム実施

先進技術を活用した
海洋・海事DXの推進

瀬戸内の自然環境を
活かしたGXの推進

海洋・海事産業の
創出に向けた
関連企業等との連携

その他、国際的な
拠点の形成に伴う
連携・協力

Promotion Council

～海洋文化都市くれ推進協議会について～



産学官がこれまで以上に強固に連携して海洋・海事に関する議題に取り組むための中核組織として、「呉市・広島大学 Town & Gown 構想 海洋文化都市くれ推進協議会」を設立しました。本協議会では、企業や大学、団体間の連携の促進、情報共有、研究開発支援、イベントの開催、内外への情報発信などの活動を通じて、アジアにおける新たな海洋・海事の拠点形成へとつなげていきます。

推進協議会の3つの運営方針

本構想で取り扱う幅広い課題に応じて、行政機関・教育機関・企業・関係団体等から幅広くメンバーを招集し、複数のチームを構成します。主なテーマは「呉市の未来ビジョン」「海洋・海事人材の育成」「海洋・海事に関する研究」の3つ。企業等を中心に、各チームが自律的に活動できる体制の構築を目指します。

Town & Gown 構想による地方創生実現に向け、3つの柱をテーマに取り組みます。

1

呉市の未来ビジョン

若い世代や海外からの人が集まる魅力的なまちづくりをともに考えます。海洋文化都市くれの実現に向けて、幅広くまちの機能を検討して呉市の施策として提案していきます。

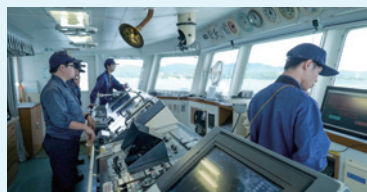


海から見た呉市宝町地区

2

海洋・海事人材の育成

海洋・海事人材が不足している現状をふまえ、社会人のリカレント・リスク教育、海洋・海事に従事する人材の育成・確保の推進をともに考えます。また、企業などにおける大学院を修了した人材の活用方法を検討し、人材ニーズの調査なども取り組みます。

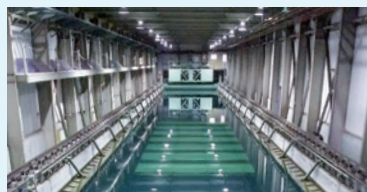


海上サイバーセキュリティセミナー2024実習風景 (広島商船高等専門学校)

3

海洋・海事に関する研究

最新の海洋・海事関連技術を産業に活かすため、大学と企業が連携できる共同研究の進め方をともに考えます。将来的には、研究テーマごとに専門のチームを立ち上げ、海洋・海事産業の競争力向上に貢献します。



広島大学工学部 曳航水槽(全長100m)

Activity Base

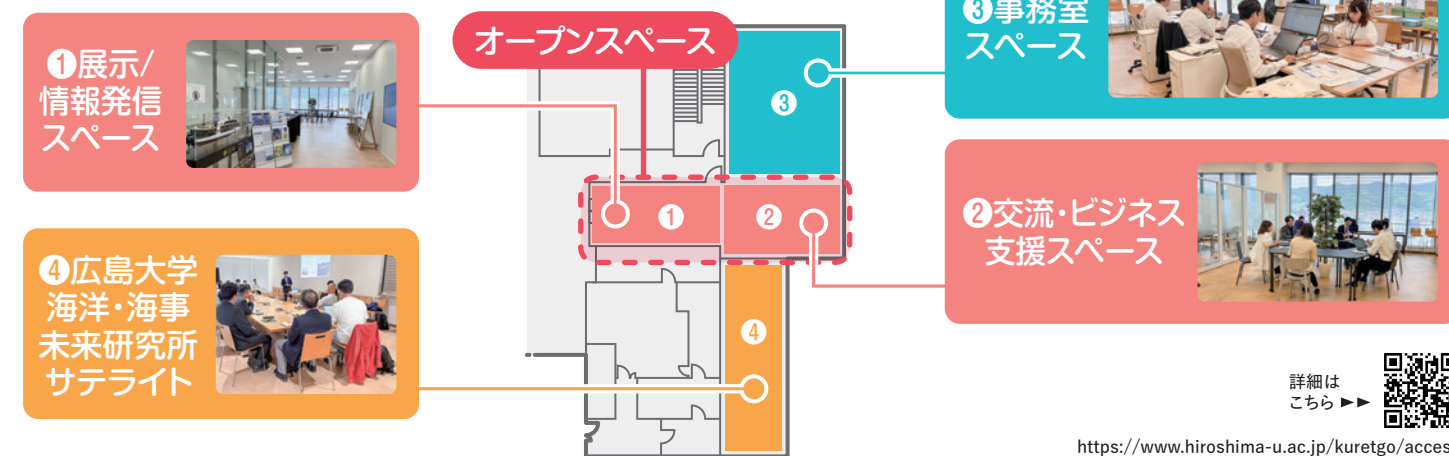
～呉市・広島大学 Town & Gown Officeについて～



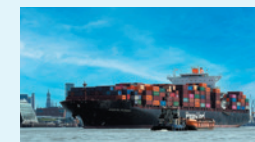
概要 2025年6月末、呉市役所9階に「呉市・広島大学 Town & Gown Office」を開所しました。総面積234㎡のエリアは、「オープンスペース」「呉市・広島大学 Town & Gown Office 事務室」「広島大学海洋・海事未来研究所サテライト」の3つのゾーンに分かれています。いずれのエリアもオープンなつくりで、本構想に関わる人々が自由に集い、つながりが生まれる空間となっています。

機能	展示/情報発信	交流	ビジネス支援	拠点形成	研究
	展示スペースを設け、企業情報や研究成果を発信し、地域との連携に活かします。	ミーティングスペースを設け、産学官の交流や意見交換の場として活用します。	コワーキングスペースや打合せスペースを設け、起業・連携活動の支援に活かします。	「呉市・広島大学 Town & Gown Office」の事務室を設け、地域と大学の連携拠点とします。	別途設置構想中の研究施設の出張所を設け、市内中心地における研究を推進します。

呉市・広島大学 Town & Gown Office フロアマップ



各種イベント・学会の開催



人材育成
情報発信

海洋・海事の最前線を学べるオンデマンド講義を開催

海洋・海事系エンジニアおよび海上保安・海洋政策に関する講義をオンデマンドで配信予定。産業界や教育業界、金融業界など様々な広島大学の卒業生たちが参画し、海の未来を支える人材育成の一助となる教育コンテンツを世界に向け配信していきます。



研究
国際

世界の研究者が船舶・海洋構造物の最新研究成果を発表する国際会議

アジア太平洋地域をはじめとして、様々な国から研究者や技術者が集まる国際会議を開催。船舶・海洋構造物に関する研究成果について意見交換・情報交換を行いました。今後も、国際会議の誘致を進めていきます。



地域活性
情報発信
教育

海の魅力を知る!海で世界につながる!くれ海博を開催

海洋文化都市くれ推進協議会では、最新の研究や先端技術に触れる貴重な機会を提供するとともに、呉市を国際的な海洋・海事の拠点として発信するため、年に一度「くれ海博」を開催しています。体験型プログラムや展示を通じて、子どもから大人まで幅広い世代に海の魅力を体感いただいています。

Working On

～海洋文化都市くれ 実現の取組～

知が集まり、人がつながる。未来をつくる

拠点を形成するための3つのステップ

STEP
1

令和7年度

海洋・海事未来研究所の 創設

広島大学では、本構想の拠点として「海洋・海事未来研究所」を創設します。研究所内には、「研究部門」「教育部門」「国際・産学連携部門」の3部門を設置。海洋・海事に関わる新たな研究領域や技術、人材を生み出します。

POINT 1

海洋・海事に関わる3つの研究分野を結集

海洋・海事分野は、幅広い分野の知見を結集させた学際的なアプローチが欠かせないフィールドです。そこで本研究所は、国際連携や産学協働も加え、多様な研究分野の専門家が国内外から集う「知のハブ」を目指します。

広島大学海洋・海事未来研究所の全体構想： 3つの研究分野を結集させた研究拠点を設置

Section 1. 海洋政策・海洋ガバナンス

国際海洋法・海洋行政、
経済安全保障・国際貿易、海洋資源マネジメント など

Section 2. 海洋利用技術

造船/海上交通/物流/海洋情報/センシングに関わるDX化 など

Section 3. 海洋環境・海洋資源

水産・漁業および海洋環境に関わるGXとDX、マリンバイオテクノロジー、ブルーカーボン、海洋エネルギー など

POINT 2

「研究」・「教育」・「国際連携・産学連携」の 3つの役割を担う

この施設は単なる研究拠点にとどまらず、海洋・海事分野の人材を育成するための教育機能も担います。また、国際連携や産学協働を推進する起点として、分野や国の枠を越えた多様な取組を生み出す拠点となることを目指しています。

STEP
2

令和8年度

海洋リモートセンシング 技術センターの設置

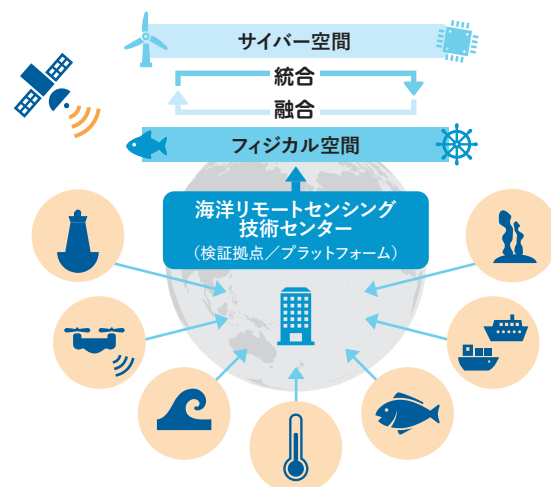
2024年、広島大学の「海洋リモートセンシング技術を核とした海洋文化都市共創拠点」が、国立研究開発法人科学技術振興機構(JST)の「共創の場形成支援プログラム(COI-NEXT)－地域共創分野(育成型)」に採択されました。この大型助成事業への採択を最大限に活用し、未来研究所内に「海洋リモートセンシング技術センター」を設置します。

「海洋リモートセンシング技術の必要性： ～持続可能な海洋開発や安全・安心な海上活動を支える基盤～」

リモートセンシング技術とは、衛星やドローンなどで遠隔から環境を高精度に観測する技術のこと。持続可能な海洋開発や安全・安心な海上活動を支える基盤となる存在です。この技術の研究開発と検証の拠点を優先整備することで、本構想全体の研究を加速し、幅広い発展を促進します。

各分野における 海洋リモートセンシング技術の可能性

- ①船舶運航・安全管理・海上サイバーセキュリティ
- ②気象・気候変動・極端気象・異常波浪対策
- ③海洋環境モニタリング
- ④海洋水産資源・エネルギー資源管理



STEP
3

令和9年度～

高度海洋・海事人材を育成する 多彩な教育プログラムの展開

急速な技術革新と気候変動により、海洋を取り巻く環境はこれまでにない変革の時代を迎えています。こうした中で、世界の海洋・海事分野を牽引する次世代人材の育成が急務となっています。本構想ではこれまで培ってきた教育研究基盤を活かし、産学官が連携して多様な人材の育成に取り組みます。

プログラムで育成する人材像： 幅広い知見を持つ海洋・海事人材

育成する
人材の素養

最先端
テクノロジー

海洋
ガバナンス

習得可能な
スキル

- ①実践的スキル
- ②高度な専門性
- ③世界の海洋・海事分野で活躍できる力

プログラムの4つの特徴

海洋・海事系教育研究機関7者での連携

5つの商船系高等専門学校および海上保安大学校と連携し、実践的スキルと高度な専門性を涵養します。

世界に通用する教育プログラム

世界海事大学(WMU)をはじめとした海外大学等と連携し、世界に通用する教育プログラムを展開します。

高度デジタルツイン教育

デジタル技術を活用し、実践・実学重視の高専と学術研究重視の大学のカリキュラムを融合した教育を実現します。

リカレント・リスキル教育

本プログラムでは受講対象を学生だけでなく社会人まで広げ、地域の中核産業の振興にも貢献します。

GOAL

3つの「新しい」を生み出す、
本構想の中心地へ



1 海洋・海事に関わる新たな研究領域を生み出す

2 海洋・海事をつかさどる新たな人材を生み出す

3 分野を超えた新たなイノベーションを生み出す